

宮崎市自然休養村センター消防・AED 訓練記録

平成 28 年 2 月 29 日(月)実施

消防訓練 9:00～10:00 職員全員参加(15 名)

AED 研修 10:00～11:30 職員全員参加(15 名)

役割分担

隊長(防火管理者)

黒木幹夫 吉田孝次 (補佐)

通報連絡担当

田村忠幸 新盛清美 高平光男 吉田祐子

初期消火担当

川野利久 神田正文 出水博文

避難誘導担当

馬場孝子 砂糖元育代 山内トミ子 斉藤トシ子

増田志都子 小川真智子

記録担当

黒木幹夫

オブザーバー

キューナンカスタマーズサービス 井上課長 他 1 名

宮崎市消防局

AED 研修のみ

8:45 スタッフ一同集合

事前打ち合わせ



避難経路と消火器、防火扉を全員で確認

8:50 消防設備機器の点検及びその他打ち合わせ

9 : 00

訓練開始 (訓練の際…消防局 27-1119)

1. 消防訓練の告知を**消防署**及び**セコム**にする。
2. 第 1 発見者 A が近くの火災発生器ボタンを押す。
3. 館内に自動で放送が流れる。
4. 第 1 発見者 A と近くにいた B が共に初期消火に当たる。(厨房スタッフ 2 名)
5. フロントにいた C が事務室にある消防署通報装置で火元の場所を確認する
6. C が現場に駆けつけ確認する。
7. C が事務室にある火災通報ボタンを押す。
8. 消防署通報装置の電話からブザーが鳴る。
9. **セコムの異常警報が鳴り出す。それをチェックボタン又はセコムボタンを押して消音する。**
10. 消防署通報装置の電話の受話器をとる。
11. 消防署の質問に答える。



① 火災か、救急かの問いに **火災です。(初期消火の状況説明)**

※負傷者の人数、性別、年齢等を答えられるようにする。

② 現地の名称と住所

宮崎市自然休養村センター

宮崎市加江田 6896 番地

電話 65-1921

③ 現場までの道順

県の運動公園から青島方面に 1 Km ほど行き青島こどもの国方面と日南方面(バイパス)の Y 路を左側の青島こどもの国方面へ進み約 80m で右折します。1 km ほど道なりに進みます。

(その途中にケアハウス・エバーグリーン・・・デイケア施設がある)

道なりに進むと T 字路になっておりそれを左折し 60m ほどで右手に坂道が見えてきますのでそこを上りきったところが宮崎市自然休養村センターになります。

④ 火災の状況 (例) 2F の研修室から出火、現在初期消火中です。

(例) 館内の収容人員、従業員数等の状況報告。

⑤ 建屋構造…**鉄筋コンクリート 2 階建** (一部鉄骨造、木造)

⑥ 建築面積…**1,349.3 m²**

12. 館内放送をする

来館中のお客様へお知らせいたします。ただいま **2F の研修室**より火災が発生いたしました。当館スタッフの指示に従って速やかに避難をお願いいたします。誘導班スタッフは 2F 休憩所、ふれあい室、大広間のそれぞれのお客様を所定の避難場所へ誘導してください。浴室のお客様はスタッフの用意した浴衣着用の上、浴室出入口前の非難口にてスタッフの誘導の指示に従い非難をお願いします。



館内放送にて非難を呼びかけ

13. 避難終了

14. 消防署通報装置の復旧

15. **火災受信機の主音響の停止ボタンを押す (消音)**

16. セコムへ消防訓練終了の連絡をする。

17. セコムの解除 (セコムを復旧する場合は、セコムキーを挿入すること)

9 : 30 事後点検

- ①ふれあい室 → 避難経路の点検
- ②防火扉 → 人がいないの確認してから閉じる。
- ③その他 → 避難誘導の際の注意事項

9 : 40 火器訓練 川野利久 高平光雄 神田正文 出水博文
齊藤トシ子 増田志都子 砂糖元育代

9 : 55 訓練オブザーバー キュウナンカスタマー 井上課長
消防訓練に関するコメント

※火災発生においては初期消火が一番である。大声で火事を告知し非難誘導を冷静に対応する。火事の際はドアを閉め、地震の時はドアを開け、カーテンを閉めるのがポイントである。火が天井まで達しているときは避難を優先する。

※消火器を使用する際は、火を狙うのではなく火の根元を狙って吹き付ける。



消火器の使用法の確認



水の消火器での訓練



南消防署職員による火災・及び緊急出動の実態報告 10 : 00～



緊急出動の様々な事例及びAED 訓練勉強会



AED 訓練の講習



AED 実技訓練

11 : 30 消防及びAED 訓練終了

以上